

---

## シンポジウム 4

# 小児期逆境体験（ACEs）の発達・健康への長期的影響

---

### ●シンポジウムの趣旨

ACEs（adverse childhood experiences）とは、虐待、貧困、家族の投獄、精神疾患、薬物乱用、家庭内暴力、離婚や別居による親の不在など家族の機能不全を含む、小児期の辛い体験のことである。米国の V. J. Felitti 医師らが 1998 年に発表した「ACE study」以降、ACEs が心身の健康に与える長期的な影響や次世代に与える影響に関する研究が多数行われている。本シンポジウムでは、そうした知見をライコース疫学、公衆衛生学（母子保健）、発達心理学（発達精神病理学）、小児科学、の第一人者の先生方にご紹介いただき、医療、公衆衛生、福祉の立場から何ができるかをディスカッションする。